

地下室には、熱交換気装置とペレットを燃料とするボイラーがあった。

#### 感想

天井・壁暖房は何とも言えない心地よい暖かさであった。

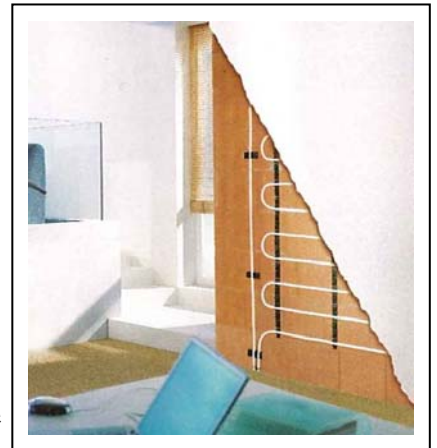
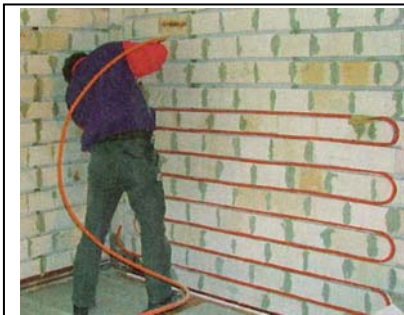
窓を手で触れると暖かい。帯広で経験したスぺーシアよりもワンランク上の感じがした。クリプトンガス封入のものかもしれない。

ベルリンの展示場を含めて一部のモデルハウスに北国とはいえないほど大きな開口部をとった住宅を見ることができたが窓の性能が相当上がったことで可能になったのではないかな。



#### 壁暖房について

この住宅展示場で無料配布している雑誌に壁暖房の記事が載っていることをハウジングシステムの高橋さんから教えていただいた。帰り際、急いでその雑誌を手に入れたので紹介する。



壁に架橋ポリ管や銅管に温水を流す。または電熱ヒーターを組み込む。

その上を左官やボードで仕上げる。最終的なイメージは右写真である。

巾木の部分にヒーターを設けて壁の中の空間を暖める写真下の方法もあるようである。

## LUFT-SYSTEME

### ... mit Hohlräumen



Im Luftkanalstein aus Kalksand (links) zirkuliert Warmluft über die gesamte Wandhöhe und erwärmt Steine und Vorsatzplatten. Im vorgesetzten Holzständergefache (rechts) fungieren die Gefache als Luftheizkanäle. Die Heizleistung erbringt ein im Sockelbereich

angebrachtes Netzrohr, das mit einer zum Raum hin teilweise geöffneten Holz- oder Aluminium-Fußleiste abgedeckt ist. Als Beplankung können abschließend Trockenbauplatten angebracht werden.  
(Systembeispiel: Aura-Wandheizung von Abakus)